

【3級・解説】

リスニング

PARTE III (N 8 – N 10)

N 8 a

【正答率】90.1%

F: Ed eccoci come di consueto alle previsioni del tempo per domani. Ancora sole e cielo sereno al Nord, sulle regioni centro occidentali e sulla Sardegna. Cielo poco nuvoloso sulle zone centro orientali e sulla costa adriatica. Il tempo peggiorerà invece nel Sud Italia. Previste piogge temporalesche su tutte le regioni del Sud, compresa la Sicilia.

Domanda: Come sarà il tempo domani?

【訳】(女)さてここで、いつものように、明日の天気予報です。北部、中部西側の各州、サルデーニャ島では、引き続き太陽が出て晴天でしょう。中部東側の地域とアドリア海沿岸では、空が少し曇るでしょう。一方、南イタリアでは天気が悪くなるでしょう。シチーリア島を含む、南部の全ての州で、暴風雨が予想されています。

(問)明日、天気はどうなるでしょうか？

N 9 a

【正答率】85.3%

F: Ce la fai?

M: Sì, ho quasi finito. Passami il cacciavite, per favore.

F: Questo piccolo?

M: No, quello rosso, un po' più grande. Devo stringere questa vite e poi... dovrebbe funzionare. Si era staccato un filo, per questo non si accendeva più... Ecco! Vedrai che adesso funziona perfettamente.

F: Bravo! Meno male! Io non avrei saputo dove mettere le mani, ma mi sarebbe dispiaciuto buttarla via.

Domanda: Cosa sta facendo lui?

【訳】(女)できる？(男)うん、ほとんど終わった。ねじ回しを取って、お願い。

(女)この小さいの？(男)いや、あの赤くて、もう少し大きいのを。このねじを

締めないといけない。そうすれば……機能するはずだけど。線が外れてしまって、そのせいでもう点灯しなかったんだ……よし！ 見ていて、これでちゃんと機能するよ。(女)素晴らしい！ 良かった！ 私だったら、どこを触れば良いか分からなかった。でも、それを捨てるのは、きっと残念だったと思う。

(問) 男性は何をしているところですか？

N 10 b

【正答率】95.0%

F1: I miei vicini hanno preso un cane. Sai uno di quei cagnolini piccoli... È buono, fa amicizia con tutti. Ma devi vedere quando lo portano a passeggio! Gli mettono sempre addosso dei vestiti...

F2: Ma... perché ha freddo?

F1: No, non credo. È che lo vestono come una bambola! Poverino, l'altro giorno li ho incontrati per strada e l'avevano vestito da Babbo Natale, con una tutina rossa e anche il cappellino rosso e bianco.

F2: Incredibile...

Domanda: Di quale cane parla?

【訳】(女1)うちのご近所さんが犬を飼い始めた。ほら、あの小さな可愛い犬を1匹……。良い子で、皆と仲良くなる。でも、散歩に連れて行く時を見ないとね！ いつも服を着せている……。 (女2)それは……。寒いから？ (女1)いえ、違うと思う。お人形のように服を着せているのよ！ かわいそうに、先日、道で会ったら、サンタ・クロースの服を着せていたわ、赤のおべべに、赤と白の小さな帽子も。(女2)信じられない……。

(問) どの犬について話していますか？

PARTE V (N14 – N16)

N 14 b

【正答率】12.0%

F: Come ci vai da Claudia, Federico? Prendi il motorino? Il tempo è un po' incerto... Se vuoi ti presto la macchina.

M: Non importa, zia. Non credo voglia piovere, e poi, nel caso, lo lascio a casa sua e mi faccio riaccompagnare in macchina da lei.

F: D'accordo.

【訳】どうやってクラウディアの所に行くの、フェデリーコ？ スクーターに乗るの？ 天気が少し不安定よ……。もし要るなら、車を貸すわ。(男) 要らないよ、おばさん。雨は降りそうにないと思うし、それに、もしそうなれば、スクーターを彼女の家に置いておいて、彼女に車で送ってもらう。(女) 了解。

フェデリーコは:

- a) クラウディアを車で家に送るだろう
- b) クラウディアの家にスクーターで行くだろう
- c) おばに送ってもらうだろう

N 15 b

【正答率】76.7%

F1: Ah, signora, dimenticavo... Poco fa, mentre Lei era fuori, ha telefonato un certo signor De Rita.

F2: Ah, sì, Riccardo De Rita. E cosa voleva?

F1: Non so, a me non l'ha detto. Voleva il Suo numero di cellulare, ma io non gliel'ho dato. Sa, non sapevo... Ho fatto male?

F2: Beh, glielo potevi anche dare, è un mio vecchio amico, ma tu non potevi saperlo. Hai fatto benissimo a fare così. Richiamerà.

F1: Sì, ha detto che avrebbe ritelefonato.

F2: Benissimo.

【訳】(女) ああ、奥さま、忘れていました……。少し前、奥さまが外出の間に、デ・リータという男性が電話をしてきました。(女 2) ああ、そう、リッカルド・デ・リータね。それで何の用だったの？(女 1) 分かりません。私には言いませんでした。奥さまの携帯電話の番号を知りたがっていましたが、私は教えませんでした。私には分かりませんでしたので……。いけなかったでしょうか？(女 2) まあ、教えても良かった、私の古い友人なの。でも、あなたにそれは分からなかったわよね。あなたがそうしたのは、とても良かった。また電話をかけてくるわ。(女 1) はい、また電話をすと言っていました。(女 2) 全く問題なしね。

少し前に電話をしてきたのは:

- a) 高齢の女性
- b) 奥さまの男の友人
- c) 知らない男の人

N 16 b

【正答率】42.5%

M: Ma come?! Un'altra? L'hai appena spenta! Non dicevi che volevi smettere?

F: Sì, è vero, ma sai... sono un po' nervosa e...

M: Sì, ho capito... una volta perché sei nervosa, poi perché ti vuoi rilassare, poi “solo una dopo mangiato”, e poi... Di' semplicemente che non vuoi smettere! Che della tua salute non ti importa un bel niente!

F: Ma no, dai... Guarda, la spengo... Non ti arrabbiare!

【訳】(男) 一体どうして?! また? 消したところだよね! やめたいと言っていなかった?(女) ええ、その通り、でもね……ちょっとイライラしてて……。

(男) ああ、分かった……ある時はイライラしてるから、次はリラックスしたいから、次は「食事の後に1本だけ」、そして次は……。やめたくない、はつきり言いなよ! 健康のことなんて全然気にならないと!(女) 違うのよ、ねえ……。ほら、消すわ……。怒らないで!

男性が怒っているのは、女性が:

- a) コンピューターを使いすぎるから
- b) 多すぎるタバコを吸うから
- c) 多すぎるアルコール飲料を飲むから

PARTE VII (N 23 – N 28)

Primo ascolto (N 23 – N 25)

F: È morta a Giffenga, in provincia di Biella, Anna Caruso. Aveva 82 anni ed era conosciuta come la ‘mamma dei record’. Aveva infatti 22 figli, il primo avuto a 18 anni e l’ultimo a 48, ed era nonna e bisnonna di quasi cento tra nipoti e pronipoti. Una famiglia davvero numerosa che, grazie anche alla partecipazione a varie trasmissioni televisive, l’aveva resa famosa. Nata a Benevento, in Campania, dopo essersi sposata la futura supermamma si era trasferita in Piemonte, dove è vissuta fino alla sua morte.

【訳】(女) ビエツラ県のジップレンガで、アンナ・カルーゾが亡くなりました。82歳のことで、「新記録のママ」として知られていました。というのは、彼女には22人の子供——最初の子を18歳の時に授かり、最後の子は48歳の時——がいて、合わせて100人近い孫とひ孫の、おばあさんとひいおばあさんだったからです。本当に人数の多い一家は、様々なテレビ番組への登場のおかげもあって、彼女を有名にしました。カンパーニア州のベネヴェント

で生まれ、結婚した後、未来のスーパー・ママはピエモンテ州に移り住み、そこで亡くなるまで暮らしました。

N 23 a 【正答率】87.7%
【訳】アンナ・カルーズには多くの子供がいた

N 24 b 【正答率】58.4%
【訳】100人以上の孫がいた

N 25 a 【正答率】81.0%
【訳】カンパーニア州で生まれたが、ピエモンテ州で暮らしていた

Secondo ascolto (N 26 – N 28)

M: Cosa leggi di bello?

F: Come dici?

M: No, niente... Ti chiedevo cosa leggi...

F: Ah, sì... L'ultimo giallo del commissario Montalbano.

M: Ah... E... com'è?

F: Divertente, come sempre. A me Andrea Camilleri piace da morire, davvero. Scrive così bene...

M: Ne hai letti parecchi di libri suoi?

F: Tutti.

M: Tutti?! Sul serio?

F: Sì, tutti. Dal primo all'ultimo. Te l'ho detto che mi piace molto. È uno dei miei scrittori preferiti.

M: Ma... quanti ne ha scritti, scusa?

F: Più di cento.

M: Accidenti! E tu li hai letti...

F: ...tutti. Ti sembra così strano? Per me è normale. Quando un autore mi piace davvero, cerco sempre di leggere il più possibile di quello che ha scritto. Tu hai mai letto niente di suo?

M: Sì, un paio di romanzi con Montalbano. Carini. Io però, sai, non

sono un gran lettore di gialli.

F: Io sì. E poi Camilleri non scrive solo libri gialli, non lo sai?

M: Beh, no, non lo sapevo.

【訳】(男)どんな面白いものを読んでいるの？(女)何て言ったの？(男)いや、何も……。何を読んでいるのか、君に聞いたんだ……。 (女)ああ、そう……。最新の刑事モンタルバーノの推理小説よ。(男)ああ……。それで……。どう？(女)面白い、いつも通り。私はアンドレーア・カミッレーリが死ぬほど好きなの、本当に。書くのがとても上手くて……。 (男)かなり読んだの、彼の本は？(女)全部。(男)全部?! まじめに言ってるの？(女)ええ、全部。最初のから最新のまで。大好きだって言ったでしょう。私のお気に入りの作家の1人よ。(男)でも……。聞くけど、彼はいくつ書いたの？(女)100以上。(男)へえ！それで君が読んだのは……。 (女)……。全部。そんなに変だとあなたは思う？私にとっては普通よ。ある作家が本当に好きなら、私はその人が書いたものをできるだけ多く読むように、いつもしている。あなたはこれまで彼のものを何か読んだことがあるの？(男)うん、モンタルバーノが出てくる小説を2つほど。なかなか良いね。でも僕は、ほら、推理小説の愛読者ではないんだ。(女)私はそうなの。それにカミッレーリが書くのは推理小説だけではない。そのことを知らないの？(男)そうなんだ、知らなかった。

N26 a

【正答率】82.7%

【訳】女性はアンドレーア・カミッレーリの全ての作品を読んだ

N27 b

【正答率】67.3%

【訳】男性も推理小説が大好きだ

N28 b

【正答率】52.9%

【訳】男性はカミッレーリ的小説を1つだけ読んだ

PARTE I (N 29 – N 49)

N 39/40

【訳】運転免許を取った時、シルヴィアはすでに30歳だった。一方、彼女の姉[妹]のクラウディアは、それを18歳の時に取った。

N 39 b

【正答率】61.8%

【解説】「運転免許を取った」という過去の完結した出来事の背景となる、「30歳だった」という継続した状況を表す時制は、直説法半過去です。したがって、b)が正解です。

N 40 b

【正答率】32.0%

【解説】「～歳の時に」という年齢の補語には前置詞は a を用いるので b)が正解です。

N 41/42

【訳】ずっとテレビの前にはいないで、ルイージ！ 掃除をするのを手伝って！

N 41 d

【正答率】51.4%

【解説】文脈に合うのは、「～しないで、～するな」という意味の、親称の tu に対する否定の命令〈non + 動詞の不定詞〉です。したがって、non stare となる、d)が正解となります。

N 42 d

【正答率】55.8%

【解説】「手」を意味する mano は女性名詞なので、a) il と c) un は不適切です。「人を手伝う、人に手を貸す」は、〈dare una mano a + 人〉と不定冠詞を用いて表現します。したがって、d)が正解です。

N 43/44

【訳】祖父は私に全ての彼の本を遺した。その中には、いくつかのかなり珍しい初版本もあった。

N 43 c

【正答率】64.2%

【解説】選択肢の4つの形容詞のうち、その後に定冠詞を置くのは tutti「全ての～」だけなので、c)が正解です。

N 44 d

【正答率】19.5%

【解説】「(本などの)版」を意味する edizioni は、女性名詞の複数形です。したがって、男性複数の b) molti と c) degli は不適切です。a)の qualche は、その後に単数形の名詞を伴いるので、これも適切ではありません。「いくつかの」を意味する女性複数の不定形容詞 alcune は、意味的にも文法的にも適切なので、d)が正解となります。

N 45/46

【訳】ようやくです！ 雨の1週間の後、明日には晴天が予想されています。

N 45 c

【正答率】45.4%

【解説】「～の1週間、1週間の～」を意味する〈una settimana di +～〉の、前置詞 di の後には名詞を置くので、c) pioggia が正解です。

N 46 a

【正答率】94.7%

【解説】b)の ben は、副詞 bene の語尾が省略されたもので、名詞を修飾できないので不適切です。他の3つの選択肢は形容詞なので、名詞を修飾できます。c)の bravo は「優れた」という意味で、通常、人に関して用いるので、ここでは適切ではありません。d)の buono は、意味的には文脈に合いますが、子音で始まる男性単数の名詞の前なので、buon という形にする必要があります。bel は、bello の語尾が省略されたもので、意味的にも文法的にも適切です。したがって、a)が正解となります。

N 47/48/49

【訳】「君はジューリアに、お祝いを伝えるために電話したの？」「そうだ！今日は9月14日だ！彼女の誕生日だ！私にそのことを思い出させてくれて、ありがとう。すぐ彼女に電話する！」

N 47 b

【正答率】42.1%

【解説】成句〈fare gli auguri a +人〉は、「人にお祝いを伝える、人をお祝

いする」という意味です。お祝いする相手はジューリアなので、女性単数の間接補語人称代名詞を用いた *farle* の、b)が正解です。

N 48 d 【正答率】58.7%

【解説】動詞の不定詞と共に補語人称代名詞を用いるときは、不定詞の末尾の *e* を取って、スペースを空けずに、間接補語、直接補語の順に並べます。よって、正解は d) の *avermelo* です。

N 49 a 【正答率】49.8%

【解説】「電話する」という意味の *chiamare* は他動詞なので、電話する相手が直接補語になります。したがって、ジューリアを表す女性単数の直接補語人称代名詞 *la* の、a)が正解です。

N 53 c 【正答率】17.5%

【訳】とてもおいしいベルギーのビールだ。【解説】「ベルギーの」を意味する形容詞は *belga* ですので、c)が正解です。なお、単数は男女とも *belga*、複数では男性が *belgi*、女性が *belghe* です。

N 54/55

【訳】今日、私はセルジョに会った。彼は本当に調子が良いように見えた。彼はとても痩せた。それに、彼は海で太陽を浴びたので、今では、君に見て欲しいなあ、全身が褐色だよ！

N 54 b 【正答率】52.6%

【解説】文脈に合うのは、「調子が良い、好調な」を意味する成句〈*in forma*〉なので、b)が正解です。

N 55 a 【正答率】60.8%

【解説】日焼けした肌の褐色を表す形容詞は、通常、*abbronzato* なので、a)が正解です。

N 56/57/58

【訳】「パーティーはどうだった？」「私にその話はしないで！ほんの少しの人だけで、私の友達は一人もいなかったの！死ぬほど退屈したわ！」

N 56 c

【正答率】26.9%

【解説】好ましくない話題を避けるための定型フレーズは、〈non me ne parlare!〉ですので、c)が正解です。

N 57 b

【正答率】42.8%

【解説】「ほんの少しの人」のことをquattro gatti「4匹の猫」と表現します。よって、b)が正解です。

N 58 d

【正答率】63.9%

【解説】文脈に合うのは、再帰動詞annoiarsi「退屈する」の直説法近過去「退屈した」ですので、mi sono annoiataとなる、d)が正解です。

作文

PARTE IV

N 66

【訳】「今朝、ジョヴァンナは……」イラストを見て、過去形を用いてストーリーを語ってください。(80から100語の間で)

【模範解答例】Stamattina Giovanna si è svegliata alle sette. È andata subito in cucina e ha preparato la colazione. Poi è andata a svegliare suo figlio e lei, suo marito e il loro bambino hanno fatto colazione insieme. Dopo suo marito è uscito per andare al lavoro, e Giovanna l'ha salutato davanti alla porta. Poco dopo sono usciti anche lei e suo figlio. Ha accompagnato il bambino a scuola in macchina e dopo è andata al lavoro. Per strada c'era molto traffico, ma per fortuna è riuscita a arrivare in ufficio in tempo e alle nove ha cominciato a lavorare. (100 parole)

【訳】今朝、ジョヴァンナは7時に目覚めました。すぐにキッチンへ行き、朝食を用意しました。その後、息子を起こしに行き、彼女、夫、そして子供は、一緒に朝食をとりました。その後、夫は仕事に行くために出かけ、ジョヴァンナ

は扉の前で夫にあいさつをしました。その少し後に、彼女と息子も出かけました。彼女は子供を車で学校に送って、その後、仕事に行きました。途中、とても渋滞していましたが、幸い、会社間に合って着くことができ、9時に仕事を始めました(100語)。